

nikko am

Nikko Asset Management

日興グラビティ・アメリカズ・ファンド <愛称 ビバ・アメリカズ>

追加型投信／海外／株式

交付運用報告書

第11期（決算日2023年9月27日）

作成対象期間（2022年9月28日～2023年9月27日）

第11期末（2023年9月27日）	
基準価額	33,798円
純資産総額	6,986百万円
第11期	
騰落率	27.8%
分配金（税込み）合計	0円

(注) 騰落率は分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

(注) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。

○交付運用報告書は、運用報告書に記載すべき事項のうち重要なものを記載した書面です。その他の内容については、運用報告書（全体版）に記載しております。

○当ファンドは、投資信託約款において運用報告書（全体版）に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めております。運用報告書（全体版）は、下記の手順にて閲覧・ダウンロードいただけます。

<運用報告書（全体版）の閲覧・ダウンロード方法>

右記URLにアクセス ⇒ ファンド検索機能を利用して該当ファンドのページを表示 ⇒ 運用報告書タブを選択 ⇒ 該当する運用報告書をクリックしてPDFファイルを表示

○運用報告書（全体版）は、受益者の方からのご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、「日興グラビティ・アメリカズ・ファンド」は、2023年9月27日に第11期の決算を行いました。

当ファンドは、主として、北米および中南米各国の金融商品取引所に上場されている株式のうち、米国経済の隆盛から恩恵を受けると考えられる企業の発行する株式に実質的に投資を行ない、中長期的な信託財産の成長をめざして運用を行なっておりま

した。ここに、当作成対象期間の運用経過等についてご報告申し上げます。

今後とも一層のお引き立てを賜りますようお願い申し上げます。

<653292>

日興アセットマネジメント株式会社

東京都港区赤坂九丁目7番1号

www.nikkoam.com/

当運用報告書に関するお問い合わせ先

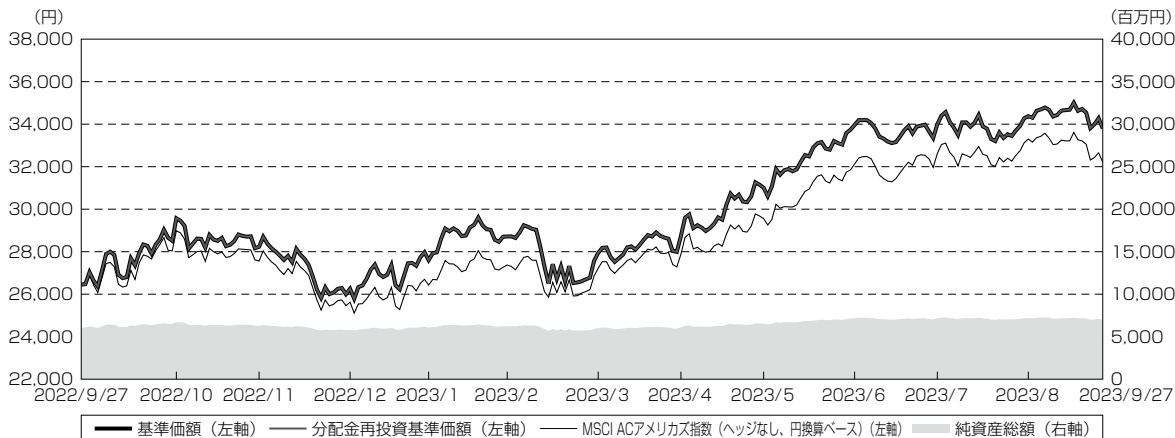
コールセンター 電話番号：0120-25-1404
午前9時～午後5時 土、日、祝・休日は除きます。

●お取引状況等についてはご購入された販売会社にお問い合わせください。

運用経過

期中の基準価額等の推移

(2022年9月28日～2023年9月27日)



期 首 : 26,450円
 期 末 : 33,798円 (既払分配金 (税込み) : 0円)
 騰 落 率 : 27.8% (分配金再投資ベース)

- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金 (税込み) を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) 分配金再投資基準価額およびMSCI ACアメリカズ指数 (ヘッジなし、円換算ベース) は、期首 (2022年9月27日) の値が基準価額と同一となるように指数化しております。
- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。
- (注) MSCI ACアメリカズ指数 (ヘッジなし、円換算ベース) は当ファンドの参考指数です。

○基準価額の主な変動要因

当ファンドは、主として、北米および中南米各国の金融商品取引所に上場されている株式のうち、米国経済の隆盛から恩恵を受けると考えられる企業の発行する株式に実質的に投資を行ない、中長期的な信託財産の成長をめざして運用を行なっております。当作成期間中における基準価額の主な変動要因は、以下の通りです。

<値上がり要因>

- ・生成AI (人工知能) の更なる普及に対する期待感などからハイテク銘柄が選好されるなか、情報技術セクターで保有する銘柄の株価が上昇したこと。
- ・2023年において、為替市場で円安が進行したこと。

<値下がり要因>

・2023年3月、米国の銀行破綻が相ついだことや欧州の銀行の経営危機などを受けて、金融システムに対する不安が強まり株式市場に下落圧力がかったこと。

1万口当たりの費用明細

(2022年9月28日～2023年9月27日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信託報酬 (投信会社) (販売会社) (受託会社)	円 583 (278) (278) (26)	% 1.958 (0.935) (0.935) (0.088)	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 委託した資金の運用の対価 運用報告書など各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の 情報提供などの対価 運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) 売買委託手数料 (株式) (投資信託証券)	5 (5) (0)	0.018 (0.018) (0.000)	(b) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(c) 有価証券取引税 (株式) (投資信託証券)	0 (0) (0)	0.001 (0.001) (0.000)	(c) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(d) その他費用 (保管費用) (監査費用) (印刷費用等) (その他)	16 (7) (1) (8) (0)	0.053 (0.023) (0.004) (0.026) (0.000)	(d) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資 金の送金・資産の移転等に要する費用 監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用 印刷費用等は、法定開示資料の印刷に係る費用など その他は、信託事務の処理等に要するその他の諸費用
合 計	604	2.030	
期中の平均基準価額は、29,753円です。			

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

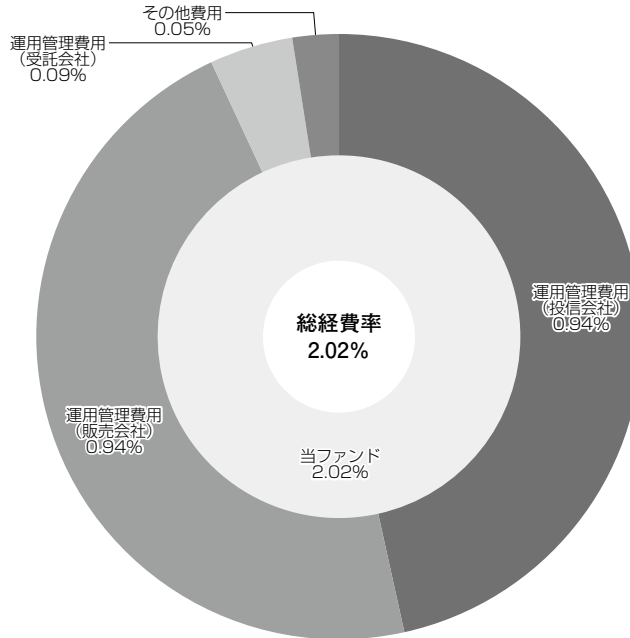
(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

(参考情報)**○総経費率**

期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は2.02%です。



(注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注) 「その他費用」には保管費用が含まれる場合があります。なお、「その他費用」の内訳は「1万口当たりの費用明細」にてご確認いただけますが、期中の費用の総額と年率換算した値は一致しないことがあります。

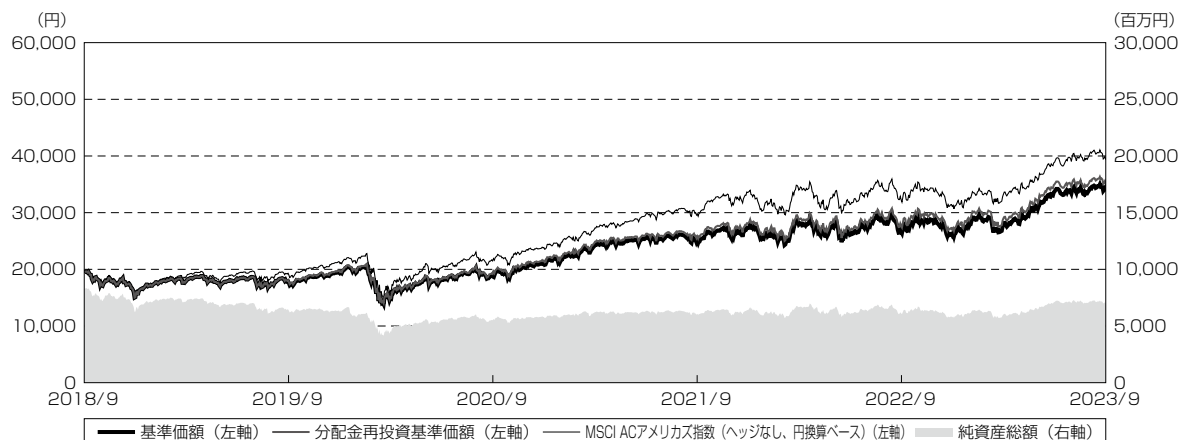
(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 当ファンドの費用は、親投資信託が支払った費用を含みます。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

最近5年間の基準価額等の推移

(2018年9月27日～2023年9月27日)



(注) 分配金再投資基準価額は、分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

(注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。

(注) 分配金再投資基準価額およびMSCI ACアメリカズ指数(ヘッジなし、円換算ベース)は、2018年9月27日の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

	2018年9月27日 決算日	2019年9月27日 決算日	2020年9月28日 決算日	2021年9月27日 決算日	2022年9月27日 決算日	2023年9月27日 決算日
基準価額 (円)	19,399	17,838	18,420	25,379	26,450	33,798
期間分配金合計(税込み) (円)	—	200	200	200	200	0
分配金再投資基準価額騰落率 (%)	—	△7.0	4.4	38.9	5.0	27.8
MSCI ACアメリカズ指数 (ヘッジなし、円換算ベース) 騰落率 (%)	—	△0.7	9.6	44.1	6.3	21.8
純資産総額 (百万円)	8,185	6,423	5,370	6,150	6,045	6,986

(注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

(注) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。

(注) 騰落率は1年前の決算応当日との比較です。

(注) MSCI ACアメリカズ指数(ヘッジなし、円換算ベース)は当ファンドの参考指数です。参考指数は投資対象資産の相場を説明する代表的な指数として記載しているものです。

投資環境

(2022年9月28日～2023年9月27日)

(株式市況)

当期の米国株式市場は、米国連邦準備制度理事会（F R B）の金融政策およびインフレ動向といったマクロ要因に大きく左右される展開となりました。2022年10月以降はF R Bが年内にも利上げペースを減速させるとの見方が台頭して株式市場は大きく反発しましたが、12月には米国景気の減速により企業業績に対する懸念が強まったことなどを受けて株式市場は下落しました。

2023年に入ると、インフレ率のピークアウト見通しからF R Bが利上げペースを緩めるとの見方が強まり、株式市場は上昇基調に転じたものの、3月にシリコンバレー銀行などが経営破綻し、欧州でクレディ・スイスの財務の健全性に対する警戒感が高まるなか、影響が金融システム全体に波及するリスクが意識される形で株式市場は一時調整されました。しかしその後の金融当局の迅速な対応を受けて、大規模な金融システムリスクにつながることはないとの見方から市場に安心感が広がるなか、株式市場は反発に転じました。その後もインフレ率の鈍化傾向が意識され、F R Bによる利上げ打ち止めも近いのではとの見方が強まったほか、生成A I 関連産業への期待が高まったことから、ハイテク株が主導する形で株式市場は堅調に推移しました。6月にはF R Bによる追加利上げが一時的に見送られたものの、年内あと2回の追加利上げの可能性が示唆されたことで、米国景気のソフトランディングに対する期待が高まり、投資家のリスク選好姿勢が強まったことを受けて株式市場は上昇基調が継続しました。8月・9月と利食い売りの動きから軟化したものの、期間を通じて株式市場は上昇する展開となりました。

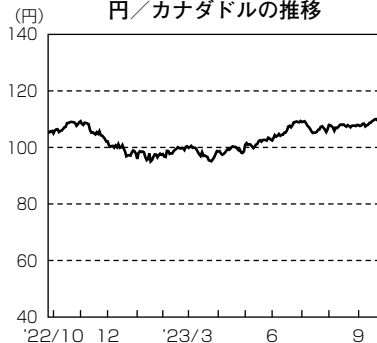
(為替市況)

期間中における主要通貨（対円）は、下記の推移となりました。

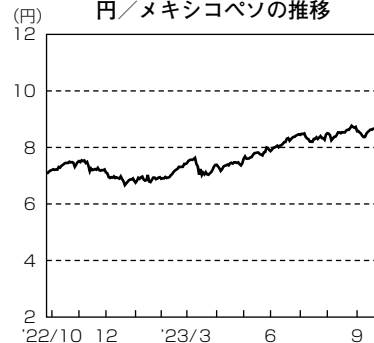
円／アメリカドルの推移



円／カナダドルの推移



円／メキシコペソの推移



当ファンドのポートフォリオ

(2022年9月28日～2023年9月27日)

(当ファンド)

当ファンドは、収益性を追求するため、「パン・アメリカ株式マザーファンド」受益証券を高位に組み入れて運用を行ないました。

(パン・アメリカ株式マザーファンド)

米国経済の隆盛から恩恵を受けると考えられる企業に投資を行ない、中長期的な信託財産の成長をめざして運用を行ないました。

株式の銘柄選定にあたっては、市場動向や銘柄毎の成長性、グラビティ効果、流動性などを勘案して行ないました。

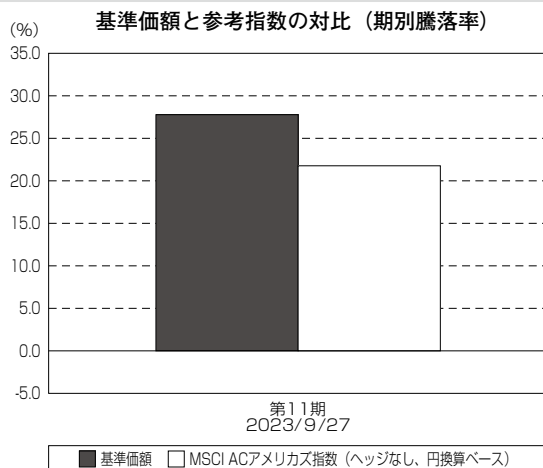
各国の金融政策の行方や政治情勢（含むロシアとウクライナとの間の紛争）など、グローバルなマクロ環境を分析したうえで銘柄選択に注力しました。当期間は金融セクターで活発な売買を行なったほか、資本財セクターの銘柄などに積極姿勢で臨みました。また昨今の市場環境を鑑み、銘柄入替ではバリュエーション（価値評価）規律を保ち売買を行ないました。

当ファンドのベンチマークとの差異

(2022年9月28日～2023年9月27日)

当ファンドは運用の目標となるベンチマークを設けておりません。

グラフは、当ファンドの基準価額と参考指数の騰落率です。



(注) 基準価額の騰落率は分配金（税込み）込みです。

(注) MSCI ACアメリカズ指数（ヘッジなし、円換算ベース）は当ファンドの参考指数です。

分配金

(2022年9月28日～2023年9月27日)

分配金は、基準価額水準、市況動向などを勘案し、以下のとおりといたしました。なお、分配金に充当しなかった収益につきましては、信託財産内に留保し、運用の基本方針に基づいて運用いたします。

○分配原資の内訳

(単位：円、1万口当たり、税込み)

項 目	第11期
	2022年9月28日～ 2023年9月27日
当期分配金	—
(対基準価額比率)	—%
当期の収益	—
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	23,797

(注) 対基準価額比率は当期分配金(税込み)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

今後の運用方針**(当ファンド)**

引き続き、ファンドの基本方針に則り、「パン・アメリカ株式マザーファンド」受益証券を原則として高位に組み入れて運用を行ないます。

(パン・アメリカ株式マザーファンド)

ディスインフレ圧力と堅調な雇用水準を考慮すれば、大幅な業績悪化の可能性は低いと考え2023年の年初を迎えました。年初の当ファンドのバリュエーションに対するポジティブな見方は、今では幅広い市場参加者に認識されています。更に一部のバリュエーションレベルはフェアバリュー(適正価値)のレンジから上抜けつつあり、割高な水準にある業種も出始めました。

S & P500指数の2023年の利益予想を振り返ると、総利益の伸びは概ね平坦になるとみています。これは2023年の市場の上昇は、バリュエーションの拡大によるものであることを意味します。その結果、魅力的なリスク・リターンへの機会は年初に比べ減少しています。

世界経済は、中国大手不動産会社の破綻やその債務問題などの懸念にもかかわらず、堅調に推移しています。中国企業が直面している支払い能力の問題は、おそらく自国の金融機関に限定されるものと思われませんが、未解決のまま放置されれば、先進国経済を減速させることになるかもしれません。

保有銘柄の中には、バリュエーションがフェアバリューを超えているものも確かにあります。こうした場合、魅力的なバリュエーションで取引され出遅れている分野(ヘルスケアや金融の一部など)に積極的に入れ替えていきます。バリュエーションについては引き続き規律を保ち、様々なマクロ環境下に耐性があり、回復力もある企業への投資機会を模索していきます。

将来の市場環境の変動などにより、当該運用方針が変更される場合があります。

今後ともご愛顧賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

お知らせ

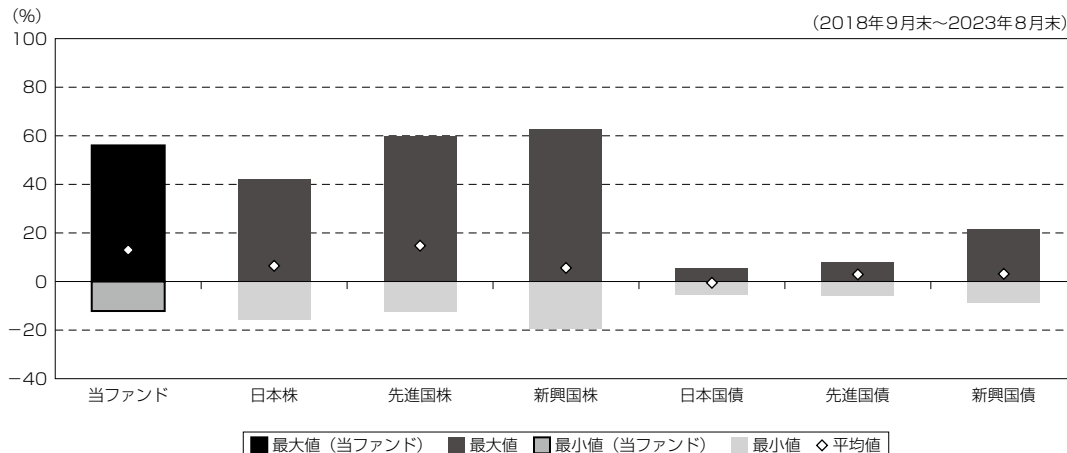
2022年9月28日から2023年9月27日までの期間に実施いたしました約款変更はございません。

当ファンドの概要

商品分類	追加型投信／海外／株式	
信託期間	2012年12月27日から2027年9月27日までです。	
運用方針	主として「パン・アメリカ株式マザーファンド」受益証券に投資を行ない、中長期的な信託財産の成長をめざして運用を行ないます。	
主要投資対象	日興グラビティ・アメリカズ・ファンド	「パン・アメリカ株式マザーファンド」受益証券を主要投資対象とします。
	パン・アメリカ株式マザーファンド	北米および中南米各国の金融商品取引所上場株式を主要投資対象とします。
運用方法	主として、北米および中南米各国の金融商品取引所に上場されている株式のうち、米国経済の隆盛から恩恵を受けると考えられる企業の発行する株式に実質的に投資を行ない、中長期的な信託財産の成長をめざして運用を行ないます。株式の銘柄選定にあたっては、市場動向や各銘柄毎の成長性、収益性、流動性などを勘案して行ないます。株式の組入比率は、高位を維持することを基本とします。外貨建資産への投資にあたっては、原則として為替ヘッジを行ないません。	
分配方針	毎決算時、原則として分配対象額のなかから、基準価額水準、市況動向などを勘案して決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には分配を行なわないこともあります。	

(参考情報)

○当ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較



(単位：%)

	当ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
最大値	56.0	42.1	59.8	62.7	5.4	7.9	21.5
最小値	△12.1	△16.0	△12.4	△19.4	△5.5	△6.1	△ 8.8
平均値	13.0	6.5	14.8	5.6	△0.5	2.9	3.2

(注) 全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

(注) 2018年9月から2023年8月の5年間の各月末における直近1年間の騰落率の最大値・最小値・平均値を表示したものです。

(注) 上記の騰落率は決算日に対応した数値とは異なります。

(注) 当ファンドは分配金再投資基準価額の騰落率です。

《各資産クラスの指数》

日本株：東証株価指数 (TOPIX、配当込)

先進国株：MSCI-KOKUSAIインデックス (配当込、円ベース)

新興国株：MSCIエマージング・マーケット・インデックス (配当込、円ベース)

日本国債：NOMURA-BPI国債

先進国債：FTSE世界国債インデックス (除く日本、円ベース)

新興国債：JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバースファイド (円ヘッジなし、円ベース)

(注) 海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。

当ファンドの参考指数について

●MSCI ACアメリカズ指数 (ヘッジなし、円換算ベース)

「MSCI ACアメリカズ指数」は、「MSCI Inc.」が発表している、南北アメリカ大陸の主要国の株式市場の合成パフォーマンスを表す指数です。同指数の (ヘッジなし、円換算ベース) とは、米ドル建ての指数をヘッジを行わずに円換算したものです。

指数について

●東証株価指数 (TOPIX、配当込) は、日本の株式市場を広範に網羅するとともに、投資対象としての機能性を有するマーケット・ベンチマークで、配当を考慮したものです。なお、当指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、株式会社 J P X 総研又は株式会社 J P X 総研の関連会社に帰属します。●MSCI-KOKUSAIインデックス (配当込、円ベース) は、MSCI Inc.が開発した、日本を除く世界の先進国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、当指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc.に帰属します。●MSCIエマージング・マーケット・インデックス (配当込、円ベース) は、MSCI Inc.が開発した、世界の新興国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、当指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc.に帰属します。●NOMURA-BPI国債は、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社が公表している指数で、その知的財産権は野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社に帰属します。なお、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社は、対象インデックスの正確性、完全性、信頼性、有用性を保証するものではなく、対象インデックスを用いて行われる日興アセットマネジメント株式会社の事業活動・サービスに関し一切責任を負いません。●FTSE世界国債インデックス (除く日本、円ベース) は、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した指数です。なお、当指数に関する著作権等の知的財産その他一切の権利は、FTSE Fixed Income LLCに帰属します。●JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバースファイド (円ヘッジなし、円ベース) は、J.P. Morgan Securities LLCが算出、公表している、新興国が発行する現地通貨建て国債を対象にした指数です。なお、当指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、J.P. Morgan Securities LLCに帰属します。

当ファンドのデータ

組入資産の内容

(2023年9月27日現在)

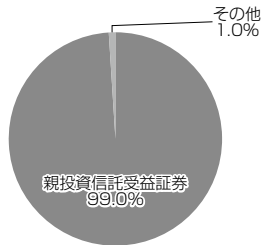
○組入上位ファンド

銘柄名	第11期末
パン・アメリカ株式マザーファンド	99.0%
組入銘柄数	1銘柄

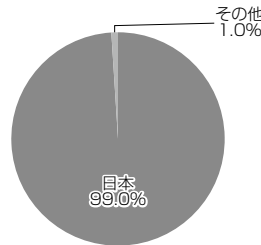
(注) 組入比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)に記載しております。

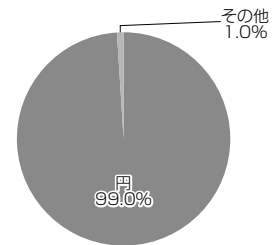
○資産別配分



○国別配分



○通貨別配分



(注) 比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。

(注) 国別配分につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。

(注) その他にはコール・ローン等を含む場合があります。

純資産等

項目	第11期末
	2023年9月27日
純資産総額	6,986,162,072円
受益権総口数	2,067,061,998口
1万口当たり基準価額	33,798円

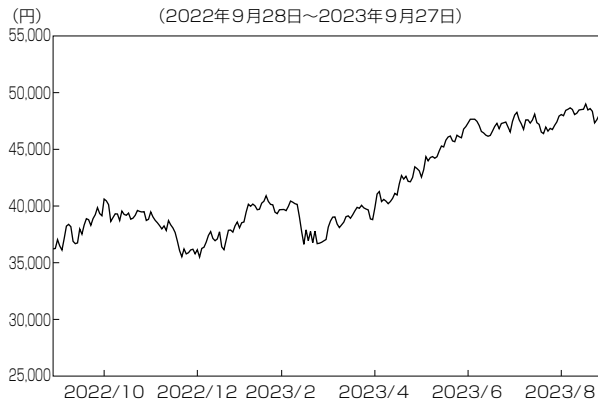
(注) 期中における追加設定元本額は56,082,742円、同解約元本額は274,682,102円です。

組入上位ファンドの概要

パン・アメリカ株式マザーファンド

【基準価額の推移】

(2022年9月28日～2023年9月27日)



【1万口当たりの費用明細】

(2022年9月28日～2023年9月27日)

項目	当期	
	金額 円	比率 %
(a) 売買委託手数料 (株 式 証 券) (投 資 信 託 証 券)	8 (8) (0)	0.018 (0.018) (0.000)
(b) 有価証券取引税 (株 式 証 券) (投 資 信 託 証 券)	0 (0) (0)	0.001 (0.001) (0.000)
(c) その他費用 (保 管 費 用)	9 (9)	0.023 (0.023)
合 計	17	0.042

期中の平均基準価額は、41,193円です。

(注) 上記項目の概要につきましては運用報告書(全体版)をご参照ください。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

【組入上位10銘柄】

(2023年9月27日現在)

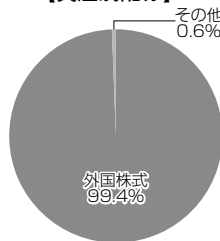
	銘柄名	業種/種別等	通貨	国(地域)	比率 %
1	META PLATFORMS INC-CLASS A	メディア・娯楽	アメリカドル	アメリカ	7.8
2	MICROSOFT CORP	ソフトウェア・サービス	アメリカドル	アメリカ	7.6
3	APPLE INC	テクノロジー・ハードウェアおよび機器	アメリカドル	アメリカ	5.7
4	REINSURANCE GROUP OF AMERICA	保険	アメリカドル	アメリカ	5.6
5	AMAZON.COM INC	一般消費財・サービス流通・小売り	アメリカドル	アメリカ	4.5
6	DISCOVER FINANCIAL SERVICES	金融サービス	アメリカドル	アメリカ	3.4
7	VISA INC-CLASS A SHARES	金融サービス	アメリカドル	アメリカ	3.2
8	LINDE PLC	素材	アメリカドル	アイルランド	3.1
9	ELI LILLY & CO	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	アメリカドル	アメリカ	3.0
10	GENERAL ELECTRIC CO	資本財	アメリカドル	アメリカ	2.9
	組入銘柄数		36銘柄		

(注) 比率は、純資産総額に対する割合です。

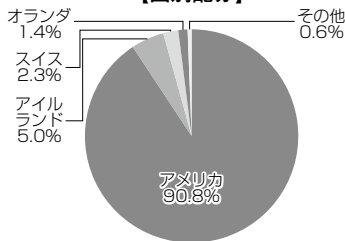
(注) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)に記載しております。

(注) 国(地域)につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。

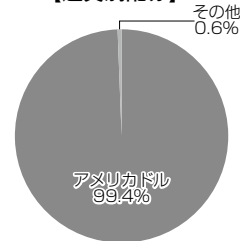
【資産別配分】



【国別配分】



【通貨別配分】



(注) 比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。

(注) 国別配分につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。

(注) その他にはコール・ローン等を含む場合があります。

※当マザーファンドの計算期間における運用経過の説明は運用報告書(全体版)をご参照ください。